

Shark

Shark 満を持して待望の日本上陸 コードレススティッククリーナー EVOFLEX 今夏発売

北米で2008年からの10年間で累計5,000万台以上もの掃除機の売上実績を誇る、
米国売上 No.1 の掃除機ブランド Shark (シャーク) が満を持して
2018年夏より日本市場に参入します。

その Shark が今夏日本で販売を開始する製品は、日本の消費者のために開発されたコードレススティッククリーナー EVOFLEX (エヴォフレックス)。「Designed for Japan in Boston : 日本のためにボストンでデザイン」の言葉の通り、EVOFLEX を開発するにあたり、まずは日本の消費者の掃除習慣を理解するための綿密なリサーチを行い、その中でコードレススティッククリーナーに対する4つの不満と不安を見出しました。

ゴミを取り除く能力への不満

家具の下の掃除のしづらさへの不満

収納への不満

稼働時間や充電への不安

これら4つの不満と不安を解消するべく開発された試作機を用いて、日本の家庭50世帯での6週間にわたる試用テストを3回実施しました。最初の試用テストの段階から EVOFLEX のゴミを取り除く能力に関しては高い評価を得ることが出来ました。そして、試用テストのたびに消費者の皆様からいただいた声の一つ一つに耳を傾け、製品の改良に努めました。さらに製品デザインに関しても日本のデザイナーが色や質感をデザイン、日本の消費者に最も受け入れられたデザインを採用しました。



コードレススティッククリーナーに対する 4つの不満と不安を解消

EVOFLEX は日本の消費者が抱く4つの不満と不安を解消しました。

ゴミを取り除く能力への不満

EVOFLEX はクリーナー市場でもっとも多くゴミを取り除く事を目標に開発されました。

そのために採用されたのが、パワフルな吸引能力を実現する Shark の技術と種類の異なる2つのブラシを搭載した、Shark 独自のヘッド DuoClean®。

フロントローラーとブラシローラーが共に働き、細かいホコリから大きなゴミまで、フローリングやカーペットなどのあらゆるタイプの床から取り除きます。

他のコードレス掃除機のように、床面に合わせてヘッドを交換する必要がありません。



一般的なブラシヘッド



DuoClean® ヘッド



前面部分が覆われたヘッドでは、大きなゴミを押し出してしまいます。DuoClean® は、前面の柔らかなフロントローラーで大きなゴミをしっかりキャッチします。

一般的な柔らかなローラー



DuoClean® ヘッド



柔らかなローラーだけでは、カーペットの奥にひそむゴミを取り除くことはできません。DuoClean® は、後方のブラシローラーで細かなチリも逃しません。

家具の下の掃除のしづらさへの不満

MultiFLEX™ 機能はボタン一つでパイプが曲がる、Shark 独自の設計。
家具の下などのヘッドが届きにくい場所も、立ったままの姿勢で楽に掃除ができます。



従来のコードレス掃除機



Shark EVOFLEX



従来のコードレス掃除機では、パイプが邪魔をし、家具の下の奥までヘッドが届きません。Shark EVOFLEXなら、家具の下の奥までヘッドが届きます。

収納への不満

ボタンを押して、サッとたたむだけで、自立式の収納モードに早変わり。
EVOFLEX は、他のコードレススティッククリーナーのように部屋の壁に穴をあけて専用の壁掛けツールを設置する必要も、ヘッドやパイプを外し、分解収納をする必要もありません。

従来のコードレス掃除機



Shark EVOFLEX



従来のコードレス掃除機は、収納用の壁掛けツールなどの設置が必要でした。Shark EVOFLEXなら、工事や特別なツールは一切必要ありません。

稼働時間や充電への不安

EVOFLEX のリチウムイオンバッテリーはワンタッチで取り外しが可能。
2 個* あるので 1 つのバッテリーが切れても入れ替えて続けてお掃除が出来ます。
バッテリーは本体に差し込んだ状態でも、単体でも充電することができるので、充電時に本体をコンセントの近くにおいておく必要がありません。

*S20、S30 に標準付属



充電用ドック*を使つての充電の他に、バッテリーに充電器を直接接続しての充電も可能です。

*予備バッテリーセット (バッテリー、充電用ドック) は S30 に付属

SharkNinja について

三世代前に Euro-Pro (ユーロ・プロ) として設立された SharkNinja (シャークニンジャ) は
今では北米有数の家庭用電気製品ブランドに成長しました。

会社のミッションは創立時から変わっていません。

「世界中のすべての家庭において、そこに暮らす人々の日々の生活を積極的に支えるために世界基準の製品を開発する」

シャークニンジャは消費者の本当のニーズに応える、消費者に寄り添った革新的な製品を、手が届きやすい価格で提供することによってこのミッションを現実のものとしてきました。

Euro-Pro 創業一族の三代目である Mark Rosensweig (マーク ローゼンズイグ) は 1999 年にフロアケア市場に参入することにより会社を急激に拡大させました。最初に発売されたハンディー掃除機には Euro-Pro の名前しかついていませんでした。それを見た米国の百貨店ブルーミングデールズのバイヤーが、もっと面白くて覚えやすい名前をつけたほうが良いと提案しました。マークとバイヤーはこの製品が Shark (サメ) に似ていると同意しました。Shark ブランド誕生の瞬間です。



ここから今では米国で掃除機売上 No.1 になるブランドの旅路が始まったのです。

Euro-Pro のフロアケア製品の売上は順調に成長し、2010 年には最初の調理家電製品である 3 つのレベルで回転する複数の刃を持った強力なブレンダー製品を発売しました。そのユニークかつ独自のデザインにより、Ninja (忍者) と命名されました。



その後数年で Ninja ブランドはブレンダーに続きコーヒーメーカーやマルチクッカーなどの加熱調理器に拡大されました。その間も Shark ブランドはマーケットリーダーに向けての成長を続けます。

2015 年には 2 つのブランドが会社の顔となった事が明確となり、正式に SharkNinja が会社名として採用されました。

そして 2018 年 SharkNinja は世界に進出します。

2018 年 7 月、満を持して SharkNinja 日本上陸です。



ゴードン・トム シャークニンジャ株式会社 社長について

今年でちょうど20年、日本でのフロアケアビジネスに従事。
掃除機が日本メーカーの寡占状態であった1990年代にダイソンを日本市場に展開。
バグレスのサイクロン掃除機を初めて日本のマスマーケットに導入し、
同社の日本市場での No.1 ブランドへの成長、成功への礎を築きました。
その後エレクトロラックス日本法人の社長に就任し、
コードレススティッククリーナーを日本マスマーケットに導入、
新しいカテゴリーを創出しました。
「これまでで最高の掃除機に出会えた」ため、
自らメンバーを集めシャークニンジャ日本法人を立ち上げ、
初代社長に就任しました。